

再改訂版「放射線副読本」の撤回を！

内閣総理大臣 安倍晋三 様
文部科学大臣 萩生田光一 様
復興大臣 田中和徳 様

2018年10月、全国のすべての小・中学校、多くの高校に生徒数の再改訂版「放射線副読本」が文科省から送付されました。学校はどのように利用したか回答しなければなりません。

初版も福島原発事故の直後に同じ要領で送付されました。事故に触れず、原発は安全、放射線は役に立つと強調していたために、全国から撤回運動が巻き起こり、事実上の撤回・改訂版の作成となりました。このような経験にもかかわらず、文科省は再び「放射線副読本」を事故被害者支援の打ち切り原発推進への世論操作に使おうとしており、これは学校教育への不当な介入です。

今回の再改訂は、復興大臣主導の「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」の指示により行われました。それは、福島の復興が進まないのは放射線が危険との誤った知識によって「買わない、来ない」ためであるから、学校教育を使って「安全性」を子どもたちに教え込み、被害はないことを「知ってもらう」、福島産の品物を「買ってもらう」、修学旅行等にも福島に「来てもらう」というものです。

その結果、再改訂版には福島原発事故被害の実態に反し、放射線の危険について事実と科学に反し、被害者の人権の蹂躪につながる内容があります。文科省の言う「いじめをなくしていく」ためにも、学校では真実、科学、人権に基づく教育が行われるべきです。

要求項目

1. 2018年再改訂版「放射線副読本」を撤回すること。
2. 修学旅行、校外学習の行先は子どもたちと学校の自主性にまかせること。
3. 福島原発事故の被害者への補償と健康・生活支援を継続すること。

名 前	住 所	カンパ

署名は目的以外には使用しません。

第4次締切2020年3月31日

取扱団体

送先:地球アクション 〒580-0003 松原市一津屋 4-9-6 稲岡美奈子 FAX.072-339-2871 E メール minakori@estate.ocn.ne.jp

原子力資料情報室 〒164-0011 東京都中野区中央 2-48-4 小倉ビル1階 TEL.03-6821-3211 (新住所・電話)

呼びかけ団体:地球救出アクション97、ヒバク反対キャンペーン、原子力資料情報室

賛同団体(順次追加)青谷反原発共有地の会、eシフト(脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会)、NPO法人市民電力連絡会、大阪東南フォーラム平和・人権・環境、大間原発反対現地集会実行委員会、科学技術問題研究会、核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会、核のごみキャンペーン関西、カナダ9条の会、経産省前テントひろば、原子力教育を考える会、原発いらん!山口ネットワーク、原発ゼロ上牧行動、原発とめよう!九電本店前ひろば、原発の危険性を考える宝塚の会、原発はごめんだヒロシマ市民の会、公害・地球環境問題懇談会、神戸学生青年センター、国際女性年連帯委員会、再稼働阻止全国ネットワーク、さよなら原発!福岡、さよなら原発なら県ネット、さよなら原発北葛の会、自治労宝塚市職員労働組合、ストップ・ザ・もんじゅ、全国公害被害者総行動実行委員会、川内原発建設反対連絡協議会、川内つゆくさ会、脱原発高槻アクション、チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西、東南反核フェスティバル実行委員会、奈良脱原発ネットワーク、日本消費者連盟反原発部会、ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン、反原発奈良教職員会、東日本大震災避難者の会 Thanks&Dream、ビジョン21、ふえみん婦人民主クラブ、ふくしまボランティア岡山隊、双葉地方反原発同盟、放射線被ばくを学習する会、幌延問題を考える旭川市民の会(1/22) 風下の会(福岡・糸島)、原発被害者訴訟支援「東京・首都圏連絡会」、公平な放射線教育を考える会@しずおか、「脱原発」桜井の会、脱原発はりまアクション、とめよう原発!!関西ネットワーク、日本山妙法寺、反原発歩こう会、反戦老人クラブ・京都、福島県教職員組合、フクシマ現地調査実行委員会、待ちなはれ!京都にも米軍基地はいりまへんの会、ベクレルフリー北海道、STOP原子力★関電包囲行動、なくせ原発!河内長野デモ実行委員会、日本カトリック正義と平和協議会平和のための脱核部会、大阪教育合同南河内、原発汚染金属の再利用を監視する市民の会、乳歯保存ネットワーク、原発ゼロ徳島連絡会、反戦タイガース兵庫(5/19)生活協同組合コープ自然派おおさか、誕生日ありがとう運動京都友の会、緑の党グリーンズジャパン、今を生きる会、さよなら原発三鷹アクション、熊本・原発止めたい女たちの会(12/20)